

報告事項 1.

平成26年度 事業報告

【公益目的事業】

1. 調査・研究事業の推進

1-1 調査・研究

石油及び周辺エネルギーに関する科学技術の一層の発展，石油・エネルギーの安定供給，及び地球環境の保全を図るため，部会活動を中心に調査・研究を行った。

1-1-1 部会活動

(1) 精製部会

プロセス分科会では，平成26年7月11日(金)に(独)産業技術総合研究所 メタンハイドレート研究センターにて，見学会および勉強会を実施した。

(2) 製品部会

1) ガソリン分科会で第39回CFRオクタン価照合試験を行った。

2) アスファルト分科会で以下の活動を行った。

a) 平成26年4月18日(水)に(独)土木研究所にて，道路舗装に関する研究設備の見学及び勉強会を実施した。

b) 舗装用アスファルトの品質基準の検討を行った。

3) 絶縁油分科会で以下の活動を行った。

a) 絶縁油関連の文献を調査し，最新情報の共有化を図った。

b) 各種エステル系絶縁油の実用性能に関して調査を行った。

c) 新しい硫化腐食の実態調査を行った。

d) 平成27年1月9日(金)に金沢工業大学にて，液体絶縁関係の研究設備の見学及び情報交換会を実施した。

4) 試験分析分科会で以下の活動を行った。

a) 灯油中のDTBP分の分析法の検討を行った。

b) 標準試料委員会からの依頼を受け，放射線式励起法による軽油の硫黄分の分析法の検討を行った。

c) 石油製品中の金属分試験方法の検討を行った。

d) 平成26年10月3日(金)に三洋化成工業(株) 本社研究所にて，最新の分析設備の見学会を実施した。

(3) 装置部会-装置委員会

1) 回転機分科会では，「ポンプ高経年劣化」について調査を実施し，結果を第15回 回転機研究討論会で報告した。

2) 配管分科会では，石油学会としてJPI-7S-65-2011「フランジ及びバルブのPTレーティング」と高圧ガス認定弁規定の規制緩和要望について継続検討している。

3) 設備保全分科会では，以下の情報交換会を実施した。

＊国内外他学協会の動向調査（「最近の装置材料」「設備技術に関する情報共有」など）

＊設備管理技術の紹介（「最新のCUI対策技術」「レーザースキャニングによる3次元形状計測を用いた石油精製装置の損傷調査技術」「付帯工事削減のための検査技術」など）

＊製油所における事例紹介

4) 計装分科会では，石油会社各社に「プラント操業の安全・安心 ～計装に期待すること～」に関しアンケート調査を実施し，結果を第31回計装研究討論会で報告した。

- 5) 電気分科会では、平成26年9月11日(木)に「高圧電動機トリップのトラブル事例」に関する勉強会を行い、結果を電気研究討論会で報告した。平成26年10月23日(木)、24日(金)に電気及び電気制御関連会社の施設研修会を行った。WG1では、「自家用電力システム計画ノウハウ集」作成のための調査を実施し、電気研究討論会で成果を報告した。WG2では、電気維持規格関連フォローアップ、トラブル事例収集及びその他調査研究を実施した。
- 6) 保安分科会では、「保安関連機関等の保安力への取組調査」を行い、結果、石油業界の「変更管理」について調査を開始した。
- (4) 経営情報部会
下記、WGを設置し、調査・検討を行った。
「シナリオプランニング Part 2
～Shell New Lens Scenariosを通して見る世界と日本のエネルギー～
「石油・石油化学産業における保守・操業データの活用方法の調査・研究」
- (5) 新エネルギー部会
次世代バイオ燃料油分科会で以下の活動を行った。
a) 平成27年2月10日(火)に宮古製糖(株)および日本アルコール産業(株)にてバイオエタノール製造工程の見学会を実施した。
b) 次世代バイオ燃料の国内動向について調査を実施した。

1-1-2 受託、参加事業

- (1) (一財)石油エネルギー技術センターが実施する重質油等高度対応処理技術開発事業のうち、「新規要素技術の調査」を受託し、実施した。
- (2) (一財)国際石油交流センターが実施する「産油国等石油精製・利用技術国際共同研究事業」のうち、①産油国等研究者の受入事業、②産油国連携合同セミナー事業、に参加し、調査・研究を実施した。また、同センターより「産油国関連の表彰事業」を受託し、実施した。

1-2 成果公開・普及

前述の部会、委員会活動や受託事業で得られた調査・研究の成果並びに創立以来蓄積された石油及び周辺エネルギーに関する知見を様々な形で広く公開した。石油及びエネルギーに関する情報の普及に努めることで、国民がこの分野に関心を持ち、石油資源の現状とその有効利用に対する理解を深めること、本分野の研究者・技術者のすそ野が拡大することを目指した。

1-2-1 会誌（一般誌）

- (1) 会誌（「ペトロテック」月刊）を発行し、会員に配布したほか、一部外部に頒布した。
1) 各月の主な内容は次表のとおりである。

| | 26年 | | | | | | | | | 27年 | | | 合計 件数 |
|-------------|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|----------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 時評 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 座談会 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 10 |
| 一般総説・資料 | 8 | 9 | 8 | 7 | 9 | 11 | 9 | 7 | 7 | 7 | 7 | 8 | 97 |
| エネルギー関連団体紹介 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 8 |
| 在外研究MAP | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 |
| 海外事業所紹介 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 全国事業所紹介 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 石油開発技術専門会社 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 8 |
| 私事白書 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 7 |
| Debutant | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 5 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 辛口放談 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 讚嘆石油史！ | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| ふるさと自慢 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 趣味談議 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| JPIJSだより | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 今月の一口メモ | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 48 |
| エネルギー知ってるはず | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 11 |
| 新技術紹介 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 新刊紹介・書評 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 8 |
| ペトロぷらざ | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 統計 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 全頁数 | 80 | 80 | 82 | 84 | 84 | 72 | 76 | 72 | 73 | 70 | 72 | 78 | 923 |

2) 上記以外の特集記事を以下のとおり掲載した。

- *平成26年4月号「ペトロリオミクス」
- *平成26年5月号「放射性物質の除染」
- *平成26年6月号「リスクマネジメント」
- *平成27年1月号「船舶用燃料」(小特集)
- *平成27年2月号「金属の回収・リサイクル」

3) その他、国内・海外の最近のニュース、論文誌掲載論文目次、学会活動を報告する「学会の窓」などを掲載した。

1-2-2 広報

- (1) 講演会、研究発表会等の学会活動を報道各社に紹介した。
- (2) ホームページコンテンツの一層の充実を図るとともに、学会行事や学会活動の成果を随時ホームページにて紹介した。
- (3) 会員を始めとするWeb閲覧者のサービス向上の一環として「ペトロテック」の過去掲載記事を検索・閲覧するサービスを平成25年5月に開始し、37巻6号まで公開した。

1-2-3 講演会等（移動大学、支部講演会、JPIJS講演会、部会講演会）

- (1) 多くの方々に石油に関する理解や興味を深めてもらうため、大学生（院生を含む）や一般市民を対象として、移動大学「石油関連セミナー」を石油連盟の支援のもとに実施した。平成26年度は20の大学・機関において講義数65コマを、さいたま市では市民講座を実施した。本年度の聴講延べ人数は約3,870人であった。開始した平成9年度からの累計は総コマ数1,022コマ、聴講延べ人数約83,000人に達している。

(2) 支部講演会等

[北海道支部]

- 1) 平成26年10月16日(木)～18日(土)に開催された旭川大会（第44回石油・石油化学討論会）では実行委員会を組織し、準備・運営に協力した。
- 2) 平成26年7月12日(土)に学協会北海道支部合同夏季研究発表会を共催した（苫小牧市）。
- 3) 平成26年10月31日(金)に第7回実践的石油学講習を企画し、実施した（苫小牧市）。
- 4) 平成26年11月11日(火)に触媒学会北海道支部札幌講演会を共催した（札幌市）。
- 5) 平成27年1月27日(火)、28日(水)に化学系学協会北海道支部合同冬季研究発表会を共催した（札幌市）。
- 6) 平成27年2月20日(金)に第14回北海道支部講演会を企画し、実施した（室蘭市）。

[東北支部]

- 1) 平成26年10月28日(火)に第31回東北支部講演会を企画し、実施した（盛岡市）。

- 2) 平成27年3月8日(日)に触媒学会東日本支部東北地区講演会を共催した(仙台市)。

[東海支部]

- 1) 平成26年8月下旬に、東海地区の4石油会社の製油所・事業所にて東海地区大学院生を対象に行われたインターンシップ事業に協力した。東海地区の5大学から7名の学生が参加した。また、平成26年9月9日(火)にインターンシップ研修報告会を企画し、実施した(名古屋市)。
- 2) 平成26年9月9日(火)に第3回東海支部講演会を企画し、実施した(名古屋市)。

[関西支部]

- 1) 平成26年6月4日(水)に三菱電機(株)京都製作所にて企業見学会を実施した。
- 2) 平成26年9月5日(金)に東燃ゼネラル石油(株)堺工場にて第22回学生企業見学会を実施した。
- 3) 平成26年10月30日(木)に第21回関西支部セミナーを日本エネルギー学会関西支部と共催した(大阪市)。
- 4) 平成26年12月5日(金)に第23回関西支部研究発表会を日本エネルギー学会関西支部と共催した(京都市)。

[中国・四国支部]

- 1) 平成26年11月17日(月)に第33回中国・四国支部講演会を企画し、実施した(東広島市)。
- 2) 平成27年1月16日(金)に第19回中国・四国支部技術交流会を企画し、実施した(倉敷市)。
- 3) 平成26年8月に中国・四国地区の4製油所・事業所にて学部・大学院生を対象に行われたインターンシップ事業に協力した。中国・四国地区の4大学から9名の学生が参加した。

[九州・沖縄支部]

- 1) 平成26年9月1日(月), 2日(火)に第29回九州・沖縄支部講演会を触媒学会と共催した(北九州市)。
- 2) 平成26年10月31日(金)に第30回九州・沖縄支部講演会を企画し、実施した(北九州市)。
- 3) 平成26年11月14日(金)に第31回九州・沖縄支部講演会を企画し、実施した(大分市)。

(3) JPIJS講演会

- 1) 平成26年5月28日(水)に開催の第63回研究発表会に併せて、第19回若手研究者のためのポスターセッションを開催した。36件の発表があり、最優秀ポスター賞を1件、優秀ポスター賞を2件選定し、表彰した。
- 2) 平成26年10月16日(木), 17日(金)に開催の旭川大会(第44回石油・石油化学討論会)において、国際セッションを企画した。
- 3) ペトロテック各号に「JPIJSだより」として行事報告等を掲載した。
- 4) その他、全国においての活動は次のとおりである。

[北海道・東北地区]

- a) 平成26年7月13日(日), 14日(月)に第54回オーロラセミナーを触媒学会と共催した(北海道夕張郡)。
- b) 平成27年2月23日(月)に北海道・東北地区講演会を開催した(室蘭市)。

[関東地区]

- a) 平成26年6月19日(木)に精製部会プロセス分科会協力のもと、JPIJS関東地区討論会「石油業界の役割と若手エンジニアの未来像」を開催した(小金井市)。
- b) 平成26年11月18日(火)にJX日鉱日石エネルギー(株)中央技術研究所にて企業見学会を実施した。

[関西地区]

平成26年8月1日(金), 2日(土)にコロキウム2014を日本エネルギー学会関西支部, 石油学会関西支部と共催した(芦屋市)。

[九州地区]

- a) 平成26年7月25日(金), 26日(土)に第25回若手ケミカルエンジニア討論会を化学工学会九州支部と共催した(宮崎市)。

- b) 平成26年9月26日(金)に精製部会プロセス分科会協力のもと、JPIJS九州地区討論会「石油業界の役割と若手エンジニアの未来像」を開催した(春日市)。

(4) 部会講演会

[資源部会]

- 1) 平成26年11月5日(水)に非在来型シンポジウム「シェールを見直そう～革命から10年」を新エネルギー部会と共同で企画し、実施した。
- 2) 平成26年10月16日(木)、17日(金)に開催の旭川大会(第44回石油・石油化学討論会)において「石油・天然ガス開発」のセッションを企画し、協力した。

[精製部会]

- 1) 平成26年6月19日(木)に開催したJPIJS関東地区討論会の実施に協力した。
- 2) 平成26年9月26日(金)に開催したJPIJS九州地区討論会の実施に協力した。
- 3) 平成26年10月27日(月)、28日(火)に27th JPI Petroleum Refining Conference “Recent Progress and Future Prospect in Petroleum & Petrochemical Process Technologies”を企画し、実施した。
- 4) 平成27年2月16日(月)に第40回精製パネル討論会を企画し、実施した。
- 5) 第39回精製パネル討論会会議録〔平成26年2月21日(金)開催〕を平成26年5月に発行した。

[石油化学部会]

- 1) 平成26年10月16日(木)、17日(金)に開催の旭川大会(第44回石油・石油化学討論会)において「脱硫・脱窒素」「石油化学」「水素化・脱水素」「酸化」「ポリマー・オリゴマー」「ファイナケミカルズ」「C1化学」「バイオケミストリー」「機能性材料」「環境触媒」「水銀除去」「グリーンプロセス」のセッションを企画し、協力した。
- 2) 平成26年11月11日(火)に第22回触媒シンポジウム「水素エネルギーとエネルギーキャリア」を企画し、実施した。

[製品部会]

- 1) 平成26年12月5日(金)に2014石油製品討論会「高度な技術に支えられた石油製品による安心社会への貢献」を企画し、実施した。
- 2) 絶縁油分科会では、平成26年6月13日(金)に第34回絶縁油分科会研究発表会を企画し、実施した。

[装置部会-装置委員会]

- 1) 平成26年12月17日(水)、18日(木)に第45回装置研究討論会「設備の高経年化と設備保全の未来」を企画し、実施した。
- 2) 平成26年10月16日(木)、17日(金)に開催の旭川大会(第44回石油・石油化学討論会)において「石油精製(設備保全)」のセッションを企画し、協力した。
- 3) 回転機分科会では、平成26年7月16日(水)～18日(金)、11月19日(水)～21日(金)、及び27年2月25日(水)～27日(金)に初級者向け実習付教育講座を企画し、実施した。また、平成26年9月24日(水)に第14回 回転機研究討論会を企画し、実施した。
- 4) 配管分科会では、平成27年2月20日(金)に第11回配管技術セミナーを企画し、実施した。
- 5) 計装分科会では、平成27年3月2日(月)に第31回計装研究討論会「プラント操業の安全・安心～計装に期待すること～」を、また平成27年2月20日(金)に若手技術者を対象とした技術交流会「各社事例紹介」を企画し、実施した。
- 6) 電気分科会では、平成27年3月16日(月)に第15回電気研究討論会「次世代の電気技術者へ～育成環境と求められる役割を考える～」を企画し、実施した。また、平成26年7月10日(木)に若手技術者を対象とした「国内における電気設備のフィールドネットワークシステム」に関する勉強会を実施した。

[新エネルギー部会]

平成26年11月5日(水)に非在来型シンポジウム「シェールを見直そう～革命から10年」を資源部

会と共同で企画し、実施した。

1-2-4 規格の制定・普及

[製品部会]

新たに次の規格を刊行した。

- * 5S-73-14 [燃料油－塩素分試験方法－波長分散形蛍光X線法] 平成26年12月10日に制定。
- * 5S-74-14 [潤滑油－添加元素試験方法－波長分散形蛍光X線法] 平成26年12月10日に制定。
- * 5S-75-14 [灯油中の2,6-ジ-tert-ブチルフェノール分試験方法－ガスクロマトグラフィー質量分析法] 平成26年12月10日に制定。

[装置部会]

(1) 装置委員会

1) 機器分科会では、次の規格類の改訂、見直しを実施した。

- * 7R-52-96 [横置容器サドル周り強度計算] 平成26年6月12日に改訂。
- * 7B-88-00 [機器フランジ漏れ防止対策資料] 平成27年2月24日に改訂。
- * 7R-28-97 [塔そう類温度圧力基準] 見直し。
- * 7R-51-91 [空冷式熱交換器の構造] 見直し。

2) 配管分科会では、次の規格の改訂、見直しを実施した。

- * 7S-57-07 [軽量形鋼製小形弁] 平成26年8月22日に改訂。
- * 7S-16-98 [配管用非金属ガスケットの寸法] 平成26年12月22日に改訂。
- * 7S-36-07 [鋼製小形弁] 平成27年2月24日に改訂。
- * 7S-82-07 [鋼製小形高圧弁] 平成27年2月24日に改訂。
- * 7S-14-97 [石油工業配管用アーク溶接鋼管] 見直し。
- * 7S-18-97 [配管用モルタルライニング] 見直し。
- * 7S-24-00 [バルブの表示方式] 見直し。
- * 7S-46-11 [鋳鋼製フランジ型及び突合せ溶接型弁] 見直し。
- * 7S-67-06 [石油工業用バルブの基盤規格] 見直し。
- * 7S-77-10 [石油工業用プラントの配管基準] 見直し。
- * 7R-78-98 [保温・保冷の設計・施工指針] 見直し。
- * 7S-81-05 [配管ガスケットの基準] 見直し。
- * 7S-84-96 [石油工業用鋼製ボス、ブランチアウトレット及びプラグ] 見直し。
- * 7S-90-02 [管の曲げ加工法] 見直し。
- * 7R-91-03 [配管用非石綿ガスケットの使用指針] 見直し。

(2) 設備維持規格委員会

次の規格の改訂及び追補の公開を実施した。

- * 8S-1-12 [配管維持規格] 平成26年7月1日に改訂。
- * 8S-3-09 [回転機維持規格] 平成26年9月30日に改訂。
- * 8R-11-09 [防食管理] 平成26年9月2日に改訂。
- * 8R-12-09 [劣化損傷] 平成26年7月1日に改訂。
- * 8R-13-09 [検査技術] 平成26年9月9日に改訂。
- * 8R-16-09 [溶接補修] 平成26年12月22日に改訂。
- * 8S-1-14 [配管維持規格]，8S-2-09 [設備維持規格]，8R-11-14 [防食管理]，8R-15-13 [フランジ・ボルト締付管理]，8R-16-14 [溶接補修] について平成26年11月27日に追補を公開。
- * 8S-6-10 [屋外貯蔵タンク維持規格] について平成27年3月17日に追補を公開。

1-2-5 設備維持管理士の資格付与

設備維持管理士認定委員会において設備維持規格の内容に関する試験を行い、合格者に設備維持管理

士の資格を付与した。また、規格内容に関する講習会及び管理士資格者を対象とした更新講習会を開催した。

- (1) 平成27年1月8日(木)に東京で、電気設備維持規格講習会、及び電気設備維持管理士更新講習会を実施した。
- (2) 平成27年1月9日(金)に東京で、計装設備維持規格講習会、及び計装設備維持管理士更新講習会を実施した。
- (3) 平成27年1月13日(火)に東京で、回転機維持規格講習会、及び回転機維持管理士更新講習会を実施した。
- (4) 平成27年1月16日(金)に東京で、平成27年1月19日(月)に京都で、配管・設備維持規格講習会を実施した。
- (5) 平成27年2月15日(日)に東京及び大阪で、設備維持管理士認定試験を実施した。その結果、配管・設備維持管理士として83名(受験者数193名)、回転機維持管理士として14名(受験者数72名)、電気設備維持管理士として10名(受験者数23名)、計装設備維持管理士として15名(受験者数28名)をそれぞれ認定した。
- (6) 平成27年2月17日(火)に東京で、平成26年2月23日(月)に京都で、配管・設備維持管理士更新講習会を実施した。
- (7) 設備維持管理士更新講習会は、認定証の有効期限が平成26年3月31日及び平成27年3月31日の認定者が対象で、各講習会終了後ただちに認定証の更新手続きを行った。その結果、配管・設備：124名、回転機：32名、電気設備：13名、計装設備：18名をそれぞれ更新認定した。

2. 研究・技術開発の支援

2-1 研究発表会、石油・石油化学討論会、論文誌刊行

石油及びその周辺エネルギー分野における研究、技術開発の一層の推進を図るため、研究者や技術者の成果発表や情報交換の場として、研究発表会及び石油・石油化学討論会を開催した。さらにこれらの成果を論文誌として刊行・公開した。

- (1) 平成26年5月28日(水)に第63回研究発表会を開催した。
- (2) 平成26年10月16日(木)～18日(土)に旭川大会(第44回石油・石油化学討論会)を開催した。
- (3) 論文誌「Journal of the Japan Petroleum Institute」(隔月刊)を発行し、維持会員(402部)、公共会員(22部)及び普通会員・学生会員の購読希望者(245部)に配布したほか、外部に各号40部を頒布した。また国内に43部、海外に64部を寄贈した(平成27年3月末現在)。平成26年度の掲載内容は次表のとおりである。J-Stage上では本誌オンラインジャーナルを第58巻2号までを公開している(平成27年5月1日現在)。昨年1年間の論文ダウンロード件数は約80,000件(うち海外は約67,000件)となっている。

| 巻数 | 57巻 | | | | 58巻 | | 合計 |
|------|-----|----|----|----|-----|----|-----|
| 号数 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 6 |
| 総合論文 | 1 | 1 | 1 | 3 | 4 | 4 | 14 |
| 一般論文 | 5 | 3 | 3 | 2 | 2 | 4 | 19 |
| ノート | — | 1 | 1 | — | — | — | 2 |
| 技術報告 | — | — | — | — | — | — | |
| レター | — | — | — | — | — | — | |
| 投書 | — | — | — | — | — | — | |
| 件数合計 | 6 | 5 | 5 | 5 | 6 | 8 | 35 |
| 全頁数 | 59 | 41 | 40 | 50 | 54 | 63 | 307 |

2-2 研究助成

平成27年度の助成金交付対象者を以下の2名に決定した。

- (1) 「極性官能基認識による高選択的固体水素化触媒の開発」
(助成額 100万円) 東北大学 助教 田村 正純 氏
- (2) 「ポリアニリン-金属水素化物複合材料における水素吸放出挙動の解明」
(助成額 100万円) 神奈川大学 助教 吉田 暁弘 氏

2-3 表彰

石油学会表彰規程，野口記念賞表彰規程，並びに国際表彰規程により，学会賞2件，論文賞1件，技術進歩賞1件，奨励賞2件，野口記念賞1件，野口記念奨励賞1件の授賞を決定した。

2-4 国際交流

韓国工業化学会（KSIEC）との技術交流を継続し，旭川大会においてKSIECが3件の依頼講演を行った。また旭川大会では2日間にわたり国際セッションを実施し，日本，韓国，インド，UAEなどから8件の依頼講演を含む21件の発表があった。

【収益事業】

1. 受託事業

- (1) 製品部会ガソリン分科会において，(株)石油産業技術研究所から「新規自動車の制御技術に燃料性状が与える影響調査」について受託し，調査・試験を実施した。
- (2) 製品部会燃料油分科会において，(株)石油産業技術研究所から「ディーゼル車の燃料供給システム調査」について受託し，調査・試験を実施した。

2. 図書及び標準試料認定・販売事業

2-1 図書販売

- (1) 石油及び周辺エネルギー分野の啓発及び技術の発展を目的に販売している以下の図書について，出版社より販売部数に応じて販売手数料を得た。
「新版 石油精製プロセス」「石油化学プロセス」「石油辞典」「石油がわかれば世界が読める」
- (2) 「石油化学プロセス」（2001年刊行）の改訂版刊行に向けた作業を開始した。

2-2 標準試料認定・販売

平成26年度の認定数（販売数）は次のとおりである。硫黄分（2026），窒素分（231），ニッケル・バナジウム分（34），FIA用（20），軽油硫黄分（606），標準ガソリン（74），引火点（1,202），総計は4,193であった。

【共益事業】

1. 溶接士の認定事業

平成20年6月から(一社)日本溶接協会にJPI規格4種の免許証発行業務を移管している。平成26年度の認定者数は706名で，現在までの累計認定者数は138,984名である。

2. 会員交流事業

- (1) 製品部会潤滑油分科会では，JPI-5S-25-08 [ガソリンエンジンワニス評価法] を関連の業界技術者に普及するため，平成26年11月28日(金)に第41回レイティングシンポジウムを開催した。
- (2) 講演会等の開催に併せて参加者の交流を目的に懇親会を開催した。

3. 会員向けサービス

本年度も毎月1回、普通会員及び維持会員あてに本会のトピックス、行事案内、募集などを記載したメールマガジンを発信した。

【法人管理】

1. 庶務事項

役員の登記手続き

平成26年5月27日就任の新役員の登記手続きは7月に終了した。

2. 法人運営

(1) 法人管理・運営にあたり、以下の会議を開催した。

理事会 (4回)、運営会議 (5回)、顧問会 (1回)、事業推進会議 (1回)、役員等候補者選定委員会 (2回)、財務委員会 (1回)、職員人事委員会 (3回)

(2) 下記規程類を制定、改定した。

- * 理事立候補内規 (制定)
- * 設備維持管理士育成優良事業所表彰規則 (制定)
- * 印章管理規程
- * 研究助成規程
- * 研究助成規則
- * 役員等候補者選定規程
- * 溶接士検定委員会規程

(3) 会員増強活動として、次の取組みを行った。

- 1) 企業の新入社員を対象としたキャンペーン (初年度会費半額) を継続した。
- 2) ペトロテック第38巻第4号に特集記事「ようこそ石油・石油化学業界へ」を掲載し、これを用いて主に新入社員、若手社員を対象にした入会勧誘活動を行った。特集記事の内容を紹介するチラシを作成し、入会申込書とともに維持会員各社の窓口担当を通じて新入社員に配布した。
- 3) 本会役員を中心に維持会員の勧誘を行った。

(4) 事業活性化委員会

石油学会の存在意義と魅力を高めるため、相応しい活動内容、必要な組織改革、改善すべき運営方法などを検討するため、事業活性化委員会を組織し、平成26年1月から活動を開始した。平成26年度は「秋季大会の活性化」を主要テーマとし、名古屋大会に向けた新たな準備体制・企画を提案し、理事会の承認を得て実行に移した。

(5) 他学協会、その他の団体から事業の共催、協賛などの依頼を受けて積極的に協力した。

【会員数の状況】

平成26年度末（平成27年3月31日）と前年度末の会員数の比較は次表のとおりである。

| 項目 会員別 | 平成26年 3月31日現在 | 平成26年度会員数の増減 | | | 平成27年 3月31日現在 |
|-----------|------------------|--------------|-----|-------|------------------|
| | | 増 | 減 | 増または減 | |
| 名誉会員 | 35 | 2 | 0 | 2 | 37 |
| 普通会員 | 2865 | 145 | 162 | △17 | 2848 |
| 学生会員 | 198 | 64 | 78 | △14 | 184 |
| 小計 | 3098 | 211 | 240 | △29 | 3069 |
| 維持会員 | | | | | |
| 1級 | 17 | 0 | 0 | 0 | 17 |
| 2級 | 9 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| 3級 | 32 | 0 | 1 | △1 | 31 |
| 4級 | 21 | 0 | 0 | 0 | 21 |
| 5級 | 178 | 8 | 7 | 1 | 179 |
| 小計 | 257 | 8 | 8 | 0 | 257 |
| 公共会員 | 21 | 1 | 0 | 1 | 22 |
| 総合計 | 3376 | 220 | 248 | △28 | 3348 |

【委員会・部会の会合数】

平成26年度の会合数は次表のとおりである。

| 会 合 名 | 数 | 会 合 名 | 数 |
|-------------------|----|------------------|-----|
| 通常総会 | 1 | 資源部会 | 3 |
| 事業推進会議 | 1 | 精製部会 | 25 |
| 理事会 | 4 | 石油化学部会 | 3 |
| 顧問会 | 1 | 製品部会 | 4 |
| 運営会議 | 5 | ガソリン分科会 | 19 |
| 財務委員会 | 1 | 燃料油分科会 | 11 |
| 役員等候補者選定委員会 | 2 | 潤滑油分科会 | 9 |
| 研究助成委員会 | 1 | アスファルト分科会 | 4 |
| 職員人事委員会 | 3 | 絶縁油分科会 | 16 |
| 支部長会議 | 1 | 試験分析分科会 | 11 |
| 会員拡大委員会 | 1 | 装置部会 | 3 |
| 石油精製プロセス編集委員会 | 1 | 設備維持規格委員会（分科会含む） | 40 |
| 刊行委員会 | 1 | 装置委員会 | 9 |
| ペトロテック編集委員会 | 11 | 機器分科会 | 9 |
| Working Group 委員会 | 55 | 回転機分科会 | 7 |
| 論文誌編集委員会（WG含む） | 7 | 配管分科会 | 14 |
| 研究・技術企画委員会 | 3 | 設備保全分科会 | 8 |
| 国際委員会 | 2 | 計装分科会 | 12 |
| 海外協力分科会 | 4 | 電気分科会 | 6 |
| 表彰委員会 | 2 | 保安分科会 | 4 |
| 表彰推薦委員会 | 1 | 経営情報部会（WG含む） | 18 |
| 表彰選考委員会（WG含む） | 6 | 新エネルギー部会 | 5 |
| 教育委員会 | 3 | 次世代バイオ燃料分科会 | 4 |
| 事業活性化委員会 | 3 | 溶接士検定委員会 | 1 |
| 部会連絡会 | 2 | 標準試料委員会 | 6 |
| | | 設備維持管理士認定委員会 | 32 |
| | | 合 計 | 405 |

【講演会，討論会，研究発表会並びに見学会等の実施】

| 月 | 日 | 曜 | 名 称 | 開催地 | 講演数 | 参加者数 |
|-------|----------|--------|---|----------|----------|------|
| 平成26年 | | | | | | |
| 5 | 27 | 火 | 第55回通常総会，第57回年会－受賞，企画，特別講演 | 東京 | 9 | 257 |
| | 28 | 水 | 受賞講演，第63回研究発表会， 第19回JPIJSポスターセッション | | 61 36 | |
| 6 | 13 | 金 | 第34回絶縁油分科会研究発表会 | 京都 | 10 | 105 |
| 9 | 24 | 水 | 第14回 回転機研究討論会 | 東京 | 11 | 254 |
| 10 | 14 | 木 | 旭川大会－特別講演，依頼講演，懇親会， 第44回石油・石油化学討論会， 見学会 | 旭川 | 19 | 418 |
| | 15 | 金 | | | 208 | |
| | 16 | 土 | | | | |
| 10 | 27 28 | 月 火 | JPI Petroleum Refining Conference | 東京 | 14 | 122 |
| 11 | 5 | 水 | 非在来型シンポジウム「シェールを見直そう～革命から10年」 | 東京 | 7 | 66 |
| 11 | 11 | 火 | 第22回触媒シンポジウム「水素エネルギーとエネルギーキャリア」 | 東京 | 4 | 70 |
| 12 | 1 2 | 月 火 | 第24回日本－サウジアラビア合同セミナー | ダハラン | 6 | 145 |
| 12 | 5 | 金 | 2014石油製品討論会「高度な技術に支えられた石油製品による安心社会への貢献」 | 東京 | 17 | 128 |
| 12 | 17 18 | 水 木 | 第45回装置研究討論会 「設備の高経年化と設備保全の未来」 | 東京 | 9 | 132 |
| 平成27年 | | | | | | |
| 1 | 8 | 木 | 設備維持規格講習会（電気設備） | 東京 | － | 9 |
| 1 | 8 | 木 | 設備維持管理士更新講習会（電気設備） | 東京 | － | 14 |
| 1 | 9 | 金 | 設備維持規格講習会（計装設備） | 東京 | － | 16 |
| 1 | 9 | 金 | 設備維持管理士更新講習会（計装設備） | 東京 | － | 18 |
| 1 | 13 | 火 | 設備維持規格講習会（回転機） | 東京 | － | 39 |
| 1 | 13 | 火 | 設備維持管理士更新講習会（回転機） | 東京 | － | 33 |
| 1 | 13 14 | 火 水 | 第16回日本－クウェート合同セミナー | クウェート | 6 | 80 |
| 1 | 16 | 金 | 設備維持規格講習会（配管・設備） | 東京 | － | 43 |
| 1 | 19 | 月 | 設備維持規格講習会（配管・設備） | 京都 | － | 30 |
| 2 | 15 | 日 | 2014年度設備維持管理士認定試験 （配管・設備，回転機，電気設備，計装設備） | 東京 大阪 | － | 327 |
| 2 | 16 | 月 | 第40回精製パネル討論会 | 東京 | 3 | 159 |
| 2 | 20 | 金 | 第11回配管技術セミナー | 東京 | 7 | 83 |
| 2 | 17 | 火 | 設備維持管理士更新講習会（配管・設備） | 東京 | － | 53 |
| 2 | 23 | 月 | 設備維持管理士更新講習会（配管・設備） | 京都 | － | 72 |
| 3 | 2 | 月 | 第31回計装研究討論会「プラント操業の安全・安心 ～計装に期待すること～」 | 東京 | 6 | 110 |
| 3 | 16 | 月 | 第15回電気研究討論会「次世代の電気技術者へ ～育成環境と求められる役割を考える～」 | 東京 | 6 | 93 |

以上